

発行：日本共産党県議会議員団
岡山市北区内山下2-4-6
〔岡山県議会内〕
電話 (086)226-7412
Fax (086)231-2187

すますす 須増 伸子 ニュース

★ご意見・ご要望をおきかせください。

期ごとに紙面の色を変えます (7月-青, 10月-オレンジ, 1月-赤, 4月-緑)



外国人敵視の排外主義は許さない



9月議会で質問する須増県議

外国人との共生について

今年の参議院選挙では、外国人政策の中で、「生活保護で外国人が優遇されている」、「外国人の犯罪は右肩上がり」などフェイクにもとづく言説がふりまかれ、外国人敵視の排外主義をあおる政党がありました。

排外主義の認識は

須増県議は、知事にたいし、このような排外主義に対し、どう認識しているのか問いました。伊原木知事は「インターネット上において、事実に基づかない情報が拡散されるなど、外国人に対する理解不足から生じる偏見等の問題は依然として存在しており、日本人と外国人の双方が、共生に向けた相互理解の増進を図ることが重要と認識している」としました。そして、全庁を調査し、日本人と比較して、外国人が優遇さ

れている、制度等は見受けられないと、県民生活部長が答えました。

全国知事会でも危惧

さらに、7月に青森であった全国知事会での議論について問うと、「岡山県も含めて現在、結構な数(県内在留外国人38,886人)の外国人の方に来ていただいて、地域のそれぞれ、産業であったり福祉であったりといった活動が回っている実態がある。現実を知らない人たちの議論であり驚いているし、非常にこの危惧をしているというのが全体雰囲気だったと紹介しました。

民族の対立は危険な流れ

須増県議は、排外主義の中で民族の対立が激化すると紛争や戦争やジェノサイドまで引き起こす危険な流れも世界にあり、排外主義これ以上広がってはな



答弁する伊原木知事

YouTube始めました



すます伸子チャンネル と検索してください

9月定例議会報告

岡山県議会9月定例議会は、9月4日から10月3日まで行われ、すます伸子県議が一般質問にたち、森脇ひさき県議が討論に立ちました。

伊原木知事は、排外主義が広がってはならないというのは、全くその通りだとして、「自分と違う人たちを排する、そこに敵対をするというのは、生物の行動パターンであります。自然のままに任せるのではなく、恐怖感や嫌悪感というものが、悲劇に繋がってきたというこの長い歴史を考えていく。共生する国際社会を作っていくのかというのは、知恵と工夫と努力の必要な営みだと思っています。これまで犯してきた過ちを繰り返さないように、我々とすれば常に努力をする必要がある」と答弁されました。

のびのび日記 35

いのちのついで裁判

国は、2013年に生活保護費の食費や光熱費など日常生活に不可欠な生活扶助の基準額を平均6.5%、最大で10%も引き下げました。この大幅な引き下げについて「いのちのついで裁判」として、基準の見直しを求めて裁判が闘われてきました。そして、最高裁判所は生活保護費の減額は違法という初の統一判断を示しました。

今回の最高裁判決は、約60年前に早島町の当時の国立岡山療養所で朝日茂さんが原告となった朝日訴訟、いわゆる「人間裁判」として教科書にも載るものですが、この朝日訴訟で最高裁判決が付言した立法裁量論を覆す判決ともなり、歴史的にも意義深く高く評価できるものです。

一日も早い国による謝罪と被害回復を求め議会でも取り上げました。



早島町ゆるびの舎での「人間裁判」の展示



子どもの医療費の無料化すすめる倉敷の会の皆さんと子どもの医療費18歳まで無料にと署名行動(9/20・倉敷駅頭)

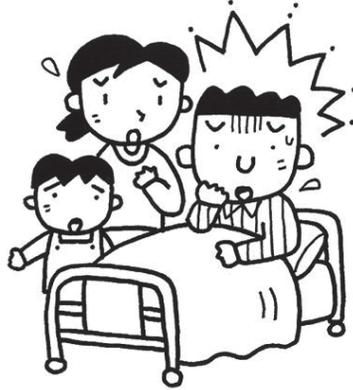


新日本婦人の会の方々とともに岡山県の農業とコメ事情について、農政課にきました。岡山県のコメの作付は昨年よりも多く安定供給に努力しているとのことでした

自民・公明・維新の会の3党合意では、4兆円の医療費削減をうたい、病床を約11万床削減することやOTC類似薬の保険適応外しを行うことが議論されています。現在7割の病院が赤字と言われる病院閉鎖は過去最高といわれる状況のなか、これ以上医療費削減を進めることは、医療崩壊につながります。また、病床削減やOTC類似薬の保険適応を外すと、難病やアレルギーなどの慢性疾患の方々の医療費負担が何十倍に跳ね上がり暮らしていきなないと、中止を国に求めよとせまりました。

医療・介護の現場応援の政治を 病床削減・OTC類似薬の 保険外し、大幅負担増を許すな

保健医療部長は、医療提供体制については、病床削減ありきではなく、必要な病床等は維持されるべきものという風に考えておりますので、医療現場の厳しい状況というのでも踏まえて国の議論を見守りたい。と答弁しました。



専門家の派遣等を通じて伴走支援する新たな交通サービス導入支援事業の充実や、県内全域のコーンや時刻表がわかるバスマップの作成を求めました。

公共交通の 専門家派遣を

地域公共交通施策の方向性を示す岡山県地域公共交通ビジョンが今年はじめに策定されます。須増県議は、気候変動対策の位置づけや、医療・介護・健康寿命の増進に貢献する視点をビジョンに盛り込むべきではと知事にいたしました。知事は、今後、ビジョンの策定にあたっては、持続可能で利便性の高い地域公共交通体系の構築に向け、策定会議の場などにおいて、お話の気候変動対策なども含め、様々な観点から議論が行われると考えると答弁しました。

公共交通の 充実を



能登の道路陥没や渋滞が復興を妨げている実態を示し、緊急輸送道路の耐震化対策を求めました。県管理の緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強進捗率は69%、緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化率は38%となっており、市町村とも協力し緊急度の高いものから耐震化を進めていくとしました。さらに、須増県議は、緊急輸送道路の耐震補強が間に合わない地域や、災害時に孤立可能性のある集落に対して、救援物資を速やかに届けるために、備蓄倉庫の分散・増設をもとめ、危機管理監は、今後市町村と備蓄目標を協議したいとしました。

道路の耐震化を 強化せよ



能登半島地震で道路の崩壊や陥没が多発し、復旧にも時間がかかっている

運転免許試験の 予約拡大を

自動車運転免許の取得のための学科試験が、完全予約制となり、希望者が多い時期は試験が受けられないという問題が起きています。須増県議は対策を求め、警察本部長は予約枠の拡大をするとしました。

災害用 トイレコンテナ配備

災害用トイレコンテナ2機(8個)が配備。断水や停電しても使える水洗トイレで、発災時トラックで搬送し避難所などで使用します

